



## 2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月12日

上場会社名 富士精工株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 6142 URL <https://www.c-max.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 龍城  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 近藤 規央 TEL 0565-53-6611  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第3四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	15,143	20.6	412	—	793	—	619	—
2021年2月期第3四半期	12,560	△20.4	△69	—	47	△95.9	△61	—

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 1,137百万円 (—%) 2021年2月期第3四半期 △278百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	169.72	—
2021年2月期第3四半期	△16.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	26,958	21,633	71.7
2021年2月期	25,665	20,741	72.4

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 19,337百万円 2021年2月期 18,594百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	25.00	—	15.00	40.00
2022年2月期	—	15.00	—		
2022年2月期（予想）				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,240	16.6	340	—	700	622.3	600	—	164.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2022年1月12日）公表いたしました「2022年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	4,306,778株	2021年2月期	4,306,778株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	729,043株	2021年2月期	639,105株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	3,649,567株	2021年2月期3Q	3,667,809株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、前連結会計年度から続く新型コロナウイルスの感染拡大により、当社グループの受注環境及び生産態勢は依然として不透明感が続いております。また、米中の貿易摩擦などによる先行きの不透明さは依然として継続している状況にあり、中国子会社をはじめとする当社グループの受注環境に影響を及ぼしております。さらに、世界的に半導体不足の影響が深刻化しており、先行きの不透明感が一層強まっている状況となっております。

わが国経済におきましても、政府による緊急事態宣言は発出と解除を繰り返している状況にあり、一部の業種に持ち直しの兆しが見えるなど国内経済は緩やかに回復しつつあるものの、新型コロナウイルスの感染拡大前の水準には至っておりません。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、電動化の推進、自動運転や安全装備などの技術開発への投資は継続されるものの、東南アジアからの部品供給不足や世界的な半導体不足の影響により生産額の計画値に対して下振れリスクが懸念され、先行きの不透明感が強まっている状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは工作機械の製造に実績のある志賀機械工業株式会社を新たな仲間として迎え、収益基盤の強化を図るべく新たな取り組みを開始しております。また、データとデジタル技術を活用し、新たなビジネススタイルを創造していくことを目的としたDX管理室を新設し、中期的な競争力の強化を狙った活動を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は15,143百万円（前年同四半期比20.6%増）、営業利益は412百万円（前年同四半期は69百万円の営業損失）、経常利益は793百万円（前年同四半期比1,585.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は619百万円（前年同四半期は61百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①日本

当地域におきましては、足元の設備投資は回復傾向にあり、工具、治具等の需要が増加したことなどにより、売上高は6,871百万円（前年同四半期比10.8%増）となりました。

しかしながら、製造工程の一部休業を余儀なくされるなど、依然として生産性の回復に至らず、セグメント損失は144百万円（前年同四半期は184百万円のセグメント損失）となりました。

#### ②アジア

当地域におきましては、中国を中心に、新型コロナウイルスの感染拡大により失速していた自動車生産が回復し、売上高は4,511百万円（前年同四半期比22.9%増）となりました。

また、労務費高騰などにより固定費負担が増加したものの、中国子会社を中心に生産性の改善が進んだことなどにより、セグメント利益は167百万円（前年同四半期は87百万円のセグメント損失）となりました。

#### ③北米・中米

当地域におきましては、個人消費を中心に需要が増加し、自動車産業界も一時は供給が追いつかない状況となるなど、国内生産が好調に推移したことから、売上高は1,878百万円（前年同四半期比56.4%増）となりました。

また、まとまった受注が入ることで生産性が大幅に向上し、セグメント利益は183百万円（前年同四半期比373.9%増）となりました。

#### ④オセアニア

当地域におきましては、断熱材の需要が引き続き堅調に推移したことにより、売上高は1,378百万円（前年同四半期比24.9%増）となりました。

また、堅調な受注に支えられ利益を確保することとなり、セグメント利益は115百万円（前年同四半期比30.6%増）となりました。

#### ⑤その他

当地域におきましては、売上高は503百万円（前年同四半期比32.2%増）、セグメント利益は50百万円（前年同四半期比380.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は26,958百万円となり、前連結会計年度末と比較して、1,293百万円増加いたしました。これは主に、有価証券が738百万円、土地が655百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は5,324百万円となり、前連結会計年度末と比較して、400百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金が185百万円、未払法人税等が172百万円、繰延税金負債が164百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は21,633百万円となり、前連結会計年度末と比較して、892百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が509百万円、為替換算調整勘定が271百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は71.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の通期連結業績予想につきましては、2021年4月14日に公表いたしました連結業績予想数値を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2022年1月12日)公表いたしました「2022年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,977,563	7,920,776
受取手形及び売掛金	3,325,792	3,213,405
電子記録債権	951,452	1,169,891
有価証券	461,684	1,200,172
商品及び製品	1,498,854	1,303,211
仕掛品	556,730	619,600
原材料及び貯蔵品	444,355	607,910
その他	495,759	479,793
貸倒引当金	△73,239	△14,220
流動資産合計	15,638,953	16,500,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,853,958	1,813,916
機械装置及び運搬具(純額)	4,262,487	4,054,204
土地	1,456,649	2,111,800
建設仮勘定	23,123	71,158
その他(純額)	236,003	208,544
有形固定資産合計	7,832,222	8,259,625
無形固定資産		
投資その他の資産	268,638	358,066
投資有価証券	1,414,174	1,251,686
長期貸付金	4,599	6,282
繰延税金資産	348,519	376,942
その他	186,429	230,097
貸倒引当金	△28,174	△24,846
投資その他の資産合計	1,925,549	1,840,162
固定資産合計	10,026,410	10,457,854
資産合計	25,665,363	26,958,393

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,185,618	1,157,620
短期借入金	826,202	458,520
1年内返済予定の長期借入金	106,830	189,383
未払法人税等	46,015	218,509
賞与引当金	126,588	312,175
その他	1,530,194	1,456,978
流動負債合計	3,821,450	3,793,189
固定負債		
長期借入金	82,849	182,391
繰延税金負債	—	164,343
役員退職慰労引当金	—	41,400
退職給付に係る負債	848,894	963,313
その他	170,778	179,820
固定負債合計	1,102,522	1,531,269
負債合計	4,923,972	5,324,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,882,016	2,882,016
資本剰余金	4,162,614	4,162,611
利益剰余金	13,334,986	13,844,381
自己株式	△918,349	△1,042,471
株主資本合計	19,461,267	19,846,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355,232	337,279
為替換算調整勘定	△412,070	△140,617
退職給付に係る調整累計額	△810,078	△705,849
その他の包括利益累計額合計	△866,917	△509,187
非支配株主持分	2,147,040	2,296,584
純資産合計	20,741,390	21,633,935
負債純資産合計	25,665,363	26,958,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	12,560,995	15,143,363
売上原価	9,845,522	11,730,012
売上総利益	2,715,472	3,413,351
販売費及び一般管理費	2,784,919	3,000,794
営業利益又は営業損失(△)	△69,446	412,556
営業外収益		
受取利息	31,923	30,443
受取配当金	20,583	22,331
為替差益	—	148,610
持分法による投資利益	—	50,511
技術指導料	52,214	41,007
その他	81,438	94,287
営業外収益合計	186,160	387,192
営業外費用		
支払利息	7,470	4,701
売上割引	695	172
持分法による投資損失	46,020	—
為替差損	15,081	—
その他	375	1,370
営業外費用合計	69,643	6,244
経常利益	47,069	793,503
特別利益		
固定資産売却益	992	128,288
投資有価証券売却益	—	102,130
特別利益合計	992	230,419
特別損失		
固定資産除売却損	10,209	10,265
投資有価証券売却損	—	875
投資有価証券評価損	34,839	—
ゴルフ会員権評価損	—	307
特別損失合計	45,048	11,447
税金等調整前四半期純利益	3,013	1,012,475
法人税、住民税及び事業税	92,544	307,216
法人税等調整額	694	△3,353
法人税等合計	93,239	303,863
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△90,226	708,611
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,820	89,189
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△61,405	619,421

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△90,226	708,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,641	△17,952
為替換算調整勘定	△372,271	341,808
退職給付に係る調整額	133,139	103,565
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,121	1,041
その他の包括利益合計	△188,612	428,463
四半期包括利益	△278,838	1,137,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△148,600	977,152
非支配株主に係る四半期包括利益	△130,238	159,923

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(新型コロナウイルス感染症に関するその他の事項)

当社及び国内連結子会社2社は、新型コロナウイルス感染症の影響にともない、休業を実施したことにより支給した休業手当等について、雇用調整助成金の特例措置の適用を受け、助成金の支給見込額77,871千円を販売費及び一般管理費ならびに当期製造費用の給料手当から控除しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	6,204,295	3,671,258	1,201,240	1,103,369	12,180,163	380,831	12,560,995	—	12,560,995
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,405,653	458,588	2,780	—	1,867,022	7,840	1,874,862	△1,874,862	—
計	7,609,948	4,129,847	1,204,021	1,103,369	14,047,186	388,671	14,435,858	△1,874,862	12,560,995
セグメント利益又 は損失(△)	△184,081	△87,031	38,666	88,191	△144,254	10,608	△133,645	64,199	△69,446

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	6,871,595	4,511,166	1,878,514	1,378,636	14,639,913	503,450	15,143,363	—	15,143,363
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,601,567	519,865	19	—	2,121,452	24,165	2,145,617	△2,145,617	—
計	8,473,162	5,031,031	1,878,534	1,378,636	16,761,365	527,616	17,288,981	△2,145,617	15,143,363
セグメント利益又 は損失(△)	△144,237	167,250	183,248	115,144	321,405	50,975	372,380	40,176	412,556

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。